

安心の設計

お便りは、
メールiryouth@yomiuri.com
ファックス03・3217・1960

脳卒中は、脳梗塞、脳出血、とも膜下出血の総称だ。年間10万人が死亡し、日本人の死因では4位となる。命が助かっても、重い後遺症が残ることが多い。

読売新聞は2022年9月11月、日本脳卒中学会が認定する「1次脳卒中センター」966施設に、21年の脳卒中治療実績を調査し、444施設から回答を得た(回答率46%)。

一覧表は①脳梗塞の新規入院②脳血栓溶解療法③血栓回収療法④脳出血の新規入院⑤とも膜下出血の新規入院の件数を示した。紙面には①が290件以上の施

病院の実力

245

は、血栓を溶かす点滴薬「t-PA」を投与して血流を再開させる。発症から4時間半以内の患者が対象だ。「血栓回収療法」は、太ももの付け根の血管に細い管(カテーテル)を入れ、脳内の血栓を取り除く。

脳出血は、脳の太い動脈でできたこぶ(脳動脈瘤)が破裂して起こる。激しい頭痛を伴いやすい。脳ドックなどで、破裂していないこぶが見つかった場合、破裂を防ぐ治療を行うことを手術で取り除いたりす

主に「つの治療が普及している。「脳血栓溶解療法」が滞り、神経細胞が傷つく。主に「つの治療が普及している。「脳血栓溶解療法」が滞り、神経細胞が傷つく。

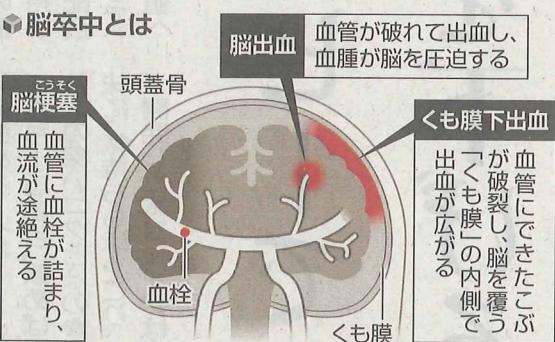
設(該当がない県は最多施設)を掲載した。

脳梗塞は、脳血管に血の塊(血栓)が詰まる。血流が滞り、神経細胞が傷つく。

脳梗塞は、脳血管に血の塊(血栓)が詰まる。血流

脳卒中 早期治療で救命

常時、実施する。このうち約250か所は「コア施設」として、「血栓回収療法」にも24時間対応する。



●脳卒中の診療体制

1次脳卒中センター (約1000施設)	常時、脳梗塞の脳血栓溶解療法を実施
うちコア施設 (約250施設)	常時、血栓回収療法も実施。脳卒中相談窓口を設置

※各施設の一覧は日本脳卒中学会のウェブサイト(<https://www.jsts.gr.jp/facility/psc/index.html>)で閲覧できる

24時間体制の整備進む

脳卒中の発症リスクは、高血圧や脂質異常症、不整脈の一つである心房細動や、喫煙や多量飲酒などで高まる。服薬や生活習慣の見直しで予防につなげたい。(影本菜穂子)

者受け入れのため、脳卒中の診療体制を縮小する医療機関がある中でも、日本脳卒中学会は、地域の診療体制の充実を図る。今回の調査対象となつた同センターは、「脳血栓溶解療法」を

次回(1月18日予定)は 変形性膝関節症